

2009年、アジアは成長が減速し、厳しい局面に ADB予測

【香港、2008年12月11日】 本日、アジア開発銀行（ADB）は、「アジア経済モニター」（Asia Economic Monitor）の最新版（2008年冬版）及び特別レポートを発表した。それによると、2009年のアジア途上国全体の平均成長率は5.8%に減速する見通し。アジア途上国の成長率は、2007年が9%、2008年が6.9%（見込み）であることから、世界金融危機の影響が新興国に広がっていることが明らかとなった（AEMの原文は<http://aric.adb.org/asia-economic-monitor>、特別レポートは<http://www.adb.org/Documents/Reports/developing-Asia-growth-forecast/AEM-Report.pdf>にてそれぞれ参照可）。

世界の景況感が大幅に悪化する中、アジアにおいても輸出が落ち込むほか民間投資資金が著しく細っており、アジア経済の強靱性が試される局面を迎えるとしている。

また、AEMは、外性的環境が芳しくない中でアジア経済が持ちこたえるか否かは、内需拡大のモメンタムをいかに維持できるかにかかっているとしている。

ADB地域経済統合室（OREI）の李鐘和（Lee Jong-wha）室長は、「アジア途上国にとって2009年は厳しい年となるだろうが、各国がともに断固とした行動を取れば十分乗り越えられる。アジアの成長減速は避けられないが、各国政府が迅速に対応して金融システムや実体経済に対する脅威の芽を早めに摘みとっていけば、健全性を保つことができるだろう」と述べている。

東アジア地域の経済については、ASEAN加盟国に中国、香港、台湾、および韓国を含めた14の加盟国の経済を半期に一度、調査・分析しているもの。これらの加盟国の平均成長予測は、2009年は5.7%となっている（2008年は6.9%成長見込み）。

このうち、アジア経済のけん引役である中国については、輸出と民間投資の伸び悩みに対して、中国政府がこれまでに内需刺激策を打ち出しているが、その成長率は 2008 年の 9.5% から、2009 年は 8.2% になると予想される。

世界不況の先行きが今後さらに深刻化・長期化すると、アジアの各金融機関にとっては困難な局面が続くこととなる。

李室長は、「アジアの今後の経済成長にとってのリスクは、貿易と金融の両面を通じてアジアが世界経済と密接につながっていることであり、金融の混乱が続けば、アジアにおける消費者や投資家の心理が大きく冷え込むことになりかねない」と述べている。

AEM は、アジア各国の経済と金融システムは根本的には健全であることから、金融危機による直接的影響は他の地域ほど深刻なものにはならないだろうとする一方で、世界的な信用収縮の波がアジアにおける各国国内の銀行システムに及んでいる点を懸念している。企業の設備投資資金が絞られ、適切な対応策が取られなければ、域内の主要途上国にも広がる可能性もある。

アジア域内の金融機関がリスク回避傾向をさらに強めると、これまで行ってきた金融政策だけでは十分な対応とならず、各国政府は内需テコ入れのため、より積極的な財政出動を迫られることになると同レポートは警告している。

AEM は各国に対し、地域における信用収縮リスクを軽減するための迅速な行動が必要と呼びかけている。

具体的には、国内金融市場に対する監視体制を一段と強化するとともに、窮地に陥った金融機関の救済策について方針を明確にしておく、外貨・自国通貨資金の流動性を適切に維持することで経済における資金循環を確保する、さらに、国内銀行部門の弱体化による財政状

Media Inquiries

Andrew Perrin
Tel: +63 2 632 5208 / 6956
Mob: +63 918 939 9062
Email: aperrin@adb.org

Electronic versions of ADB news releases

ADB Online Media Center: media.adb.org
ADB web site: www.adb.org

況の更なる悪化やリスクといった悪影響の波及を食い止めるための諸政策を検討しておくことを勧めている。

さらに、AEM は、金融機関に対する規制と監督の体制について各国当局が引き続き改善を図っていくことが有効と指摘した上で、(1) 透明性と説明責任の強化、(2) 規制と監督における健全性の向上、(3) 金融市場の順循環性 (procyclicality) の緩和、(4) 金融市場の拡大と深化による回復力増強、(5) 国際協力の強化、をあげている。

一方、ADB が同日発表した特別レポート「世界的経済減速下のアジア途上国経済見通し」(Developing Asia's Prospects in the Global Slowdown) によると、南アジア地域経済の成長率は 2007 年の 8.6% から減速し、2008 年が 6.8%、2009 年は 6.1% になる見込みである。このうち、近年目覚ましい成長を続けているインド経済は、銀行部門と資本市場が世界金融危機の影響を受けるため、2007 年度に 9% だった成長率は、2008 年度が 7%、2009 年度が 6.5% にそれぞれ下方修正された (いずれも見通し) 。

Media Inquiries

Andrew Perrin
Tel: +63 2 632 5208 / 6956
Mob: +63 918 939 9062
Email: aperrin@adb.org

Electronic versions of ADB news releases

ADB Online Media Center: media.adb.org
ADB web site: www.adb.org